



西豊地区
まちづくり
基本構想

3.住民の声

アンケートの実施概要

本基本構想策定にあたり、以下の通り、住民アンケートを実施しました。

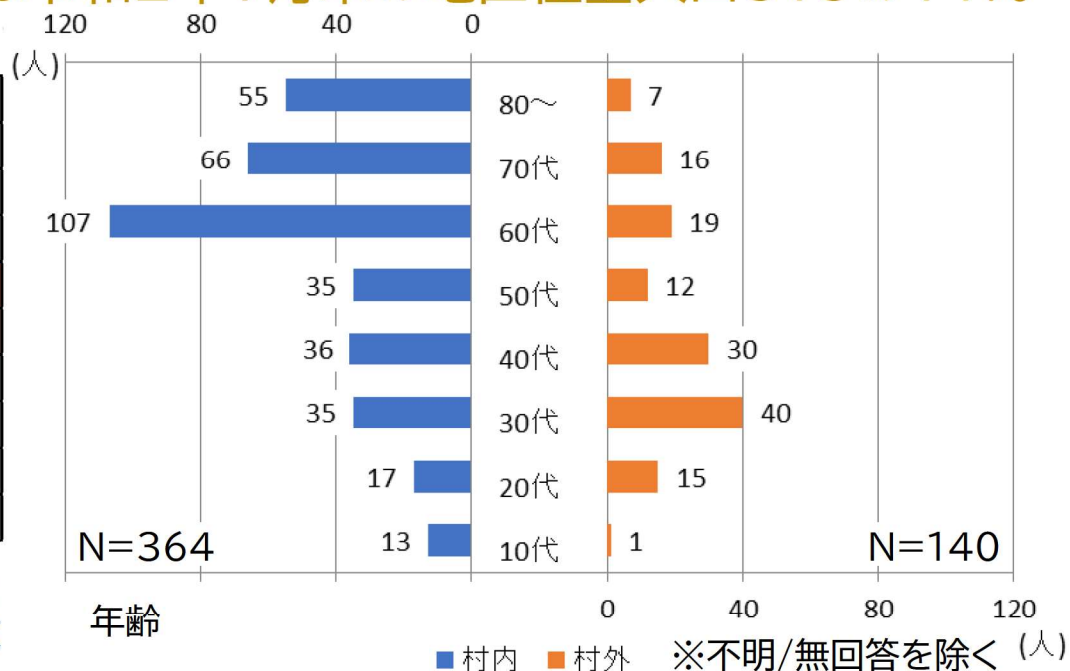
- 調査時期:令和2年8月
- 調査方法:西豊地区各大字区長より調査票を配布～回収
- 対象者:以下の少なくとも1つに該当する中学1年生以上
 - ①現在、西豊地区に居住 ②西豊地区出身
- 回収数:507枚(村内居住者:366／村外居住者:140／無回答:1)
 - ※366は令和2年7月末の地区住基人口515の71%

居住地	
回答	%
村内	72.2
村外	27.6
不明/無回答	0.2
計	100.0

性別	
回答	%
男性	47.3
女性	50.7
不明/無回答	2.0
計	100.0

職業等	
回答	%
村内自営	14.6
村内勤務	6.1
村外自営	3.7
村外勤務	40.8
家事など	22.9
学生	4.1
その他	2.8
不明/無回答	4.9
計	100.0

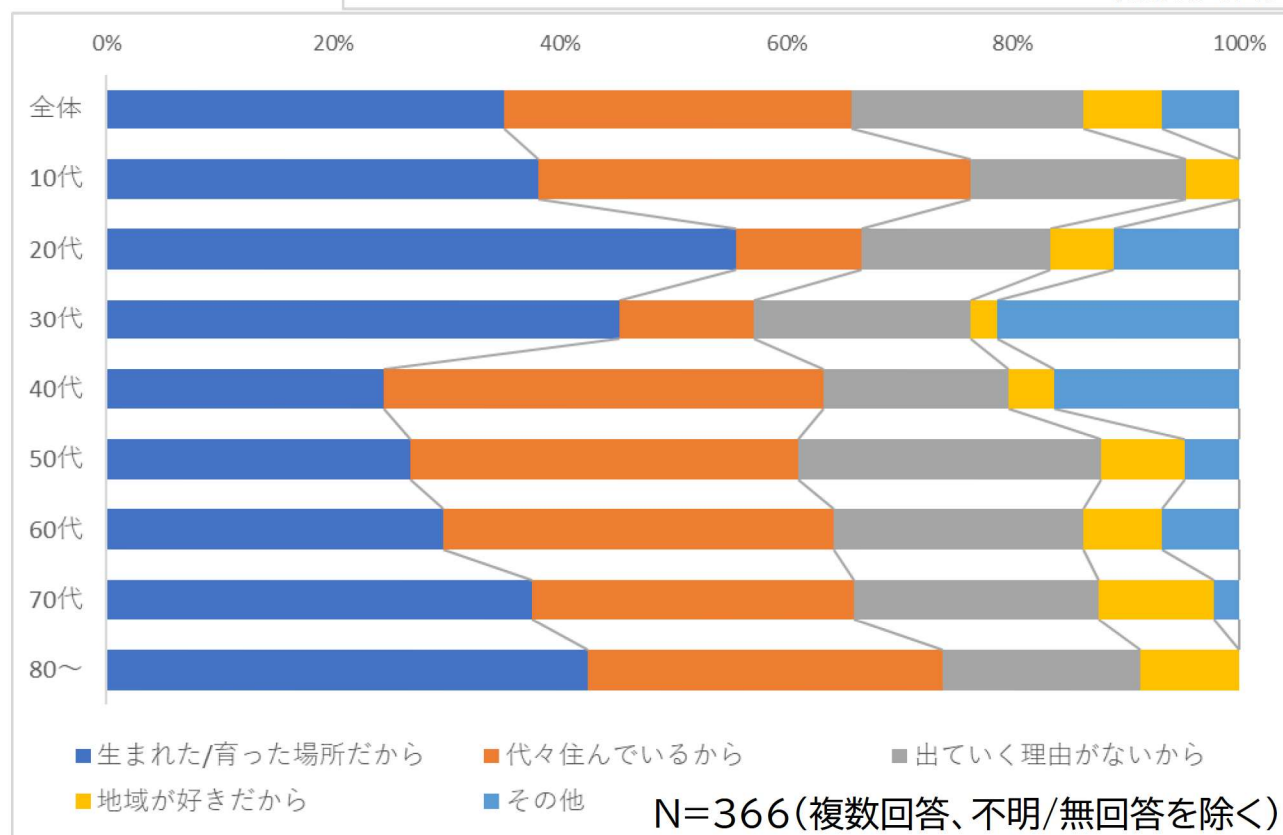
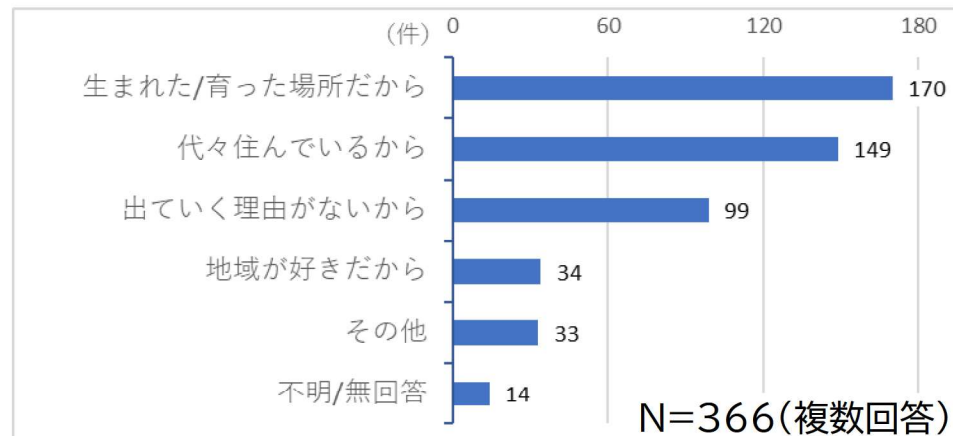
※グラフ中の「N=●●●」はサンプル(対象とした回答)数



考察 ① 村に住んでいる理由／村内居住者

現在、村内居住の回答者の「村に住んでいる理由」は、「生まれた／育った場所だから」が170件で最も多く、次いで「代々住んでいるから」が149件などとなっています。

これを年代別の割合でみた場合、20代・30代では、「生まれた／育った場所だから」の割合が特に多く、「代々住んでいるから」の割合は特に少なくなっています。また、「生まれた／育った場所だから」の割合は40代で最も少なくなっており、40代以降、50代から80歳以上にかけて段階的に増加しています。

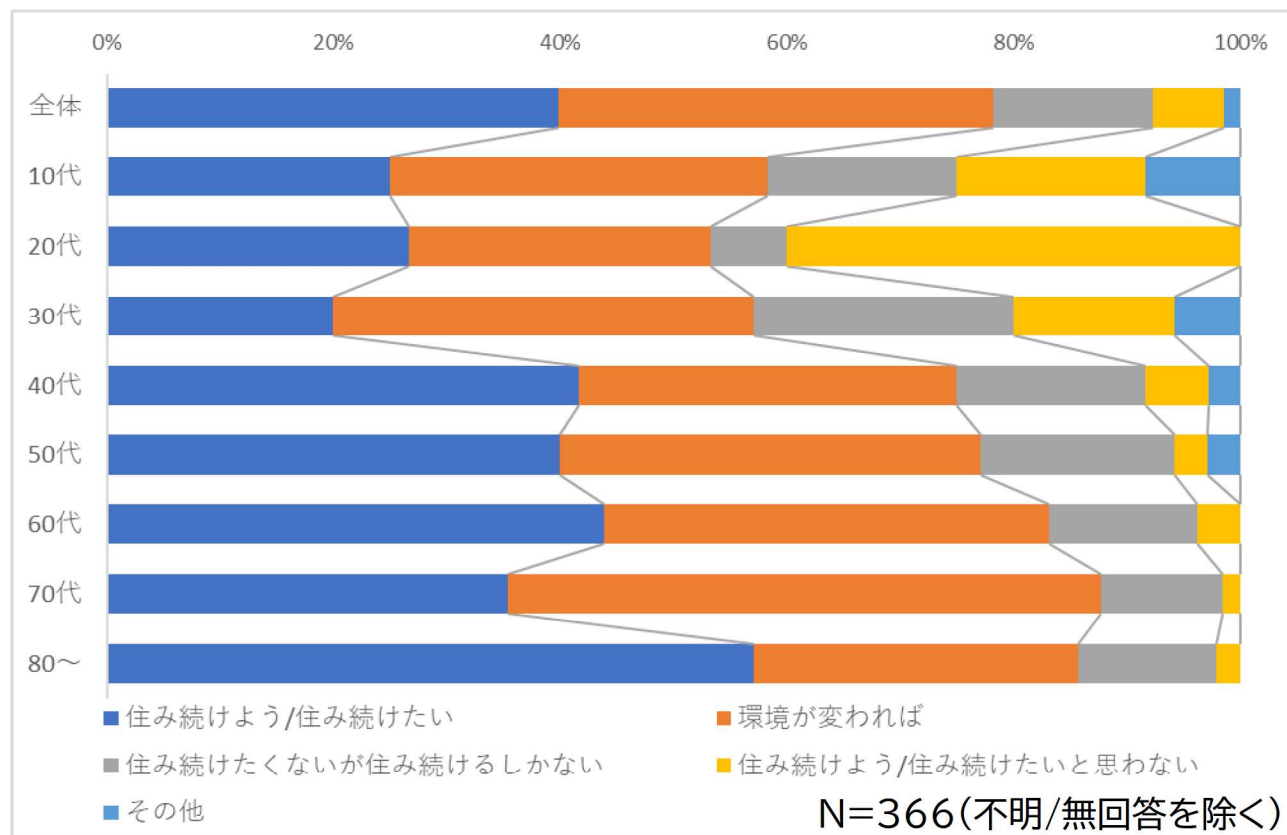


考察 ②村に住み続けたいか／村内居住者

現在、村内居住の回答者のうち、「これからも村に住み続けよう(住み続けたい)と思っている」のは38.5%、「環境が変われば住み続けよう(住み続けたい)と思っている」のは37.4%などとなっています。

No.	回答	%
1	住み続けよう/住み続けたい	38.5
2	環境が変われば	37.4
3	住み続けたくないが住み続けるしかない	13.7
4	住み続けよう/住み続けたいと思わない	6.0
5	その他	1.4
	不明/無回答	3.0
	計	100.0

年代別では、10代・20代・30代で「これからも村に住み続けよう(住み続けたい)と思っている」の割合が他の年代と比較して特に少なく、20代では「住み続けよう(住み続けたい)とは思っていない」の割合が特に多くなっています。また、「環境が変われば住み続けよう(住み続けたい)と思っている」の割合は、70代で最も多くなっています。

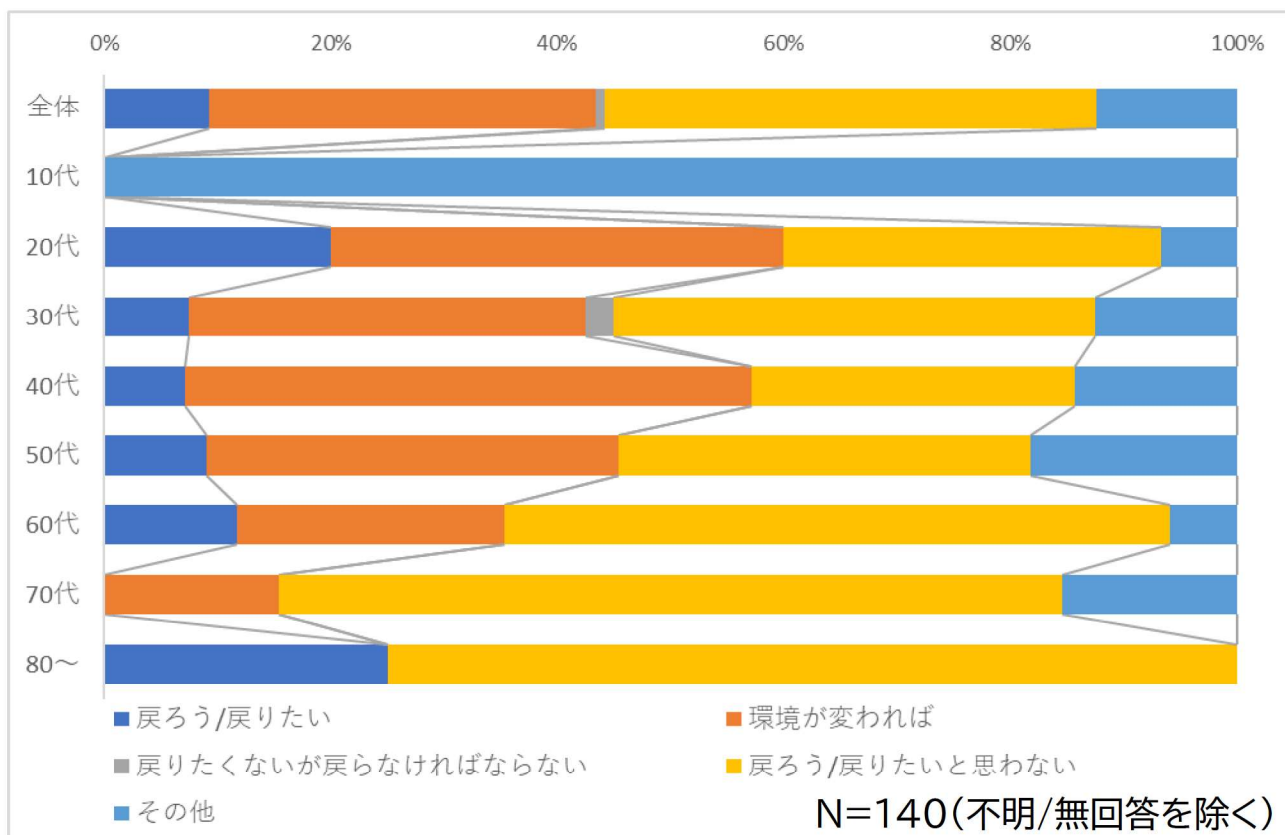


考察 ③ 村に戻りたいか／村外居住者

現在、村外居住の回答者のうち、「この先、村に戻ろう(戻りたい)と思っている」のは8.6%、「環境が変われば戻ろう(戻りたい)と思っている」のは31.4%で、「戻ろう(戻りたい)とは思っていない」のは40.0%などとなっています。

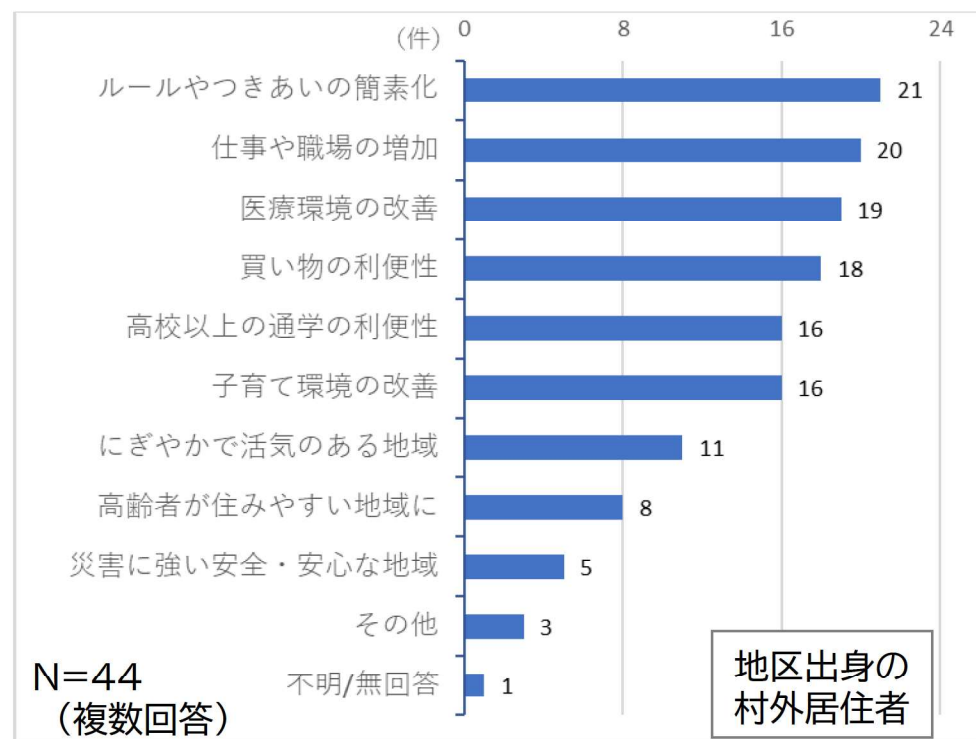
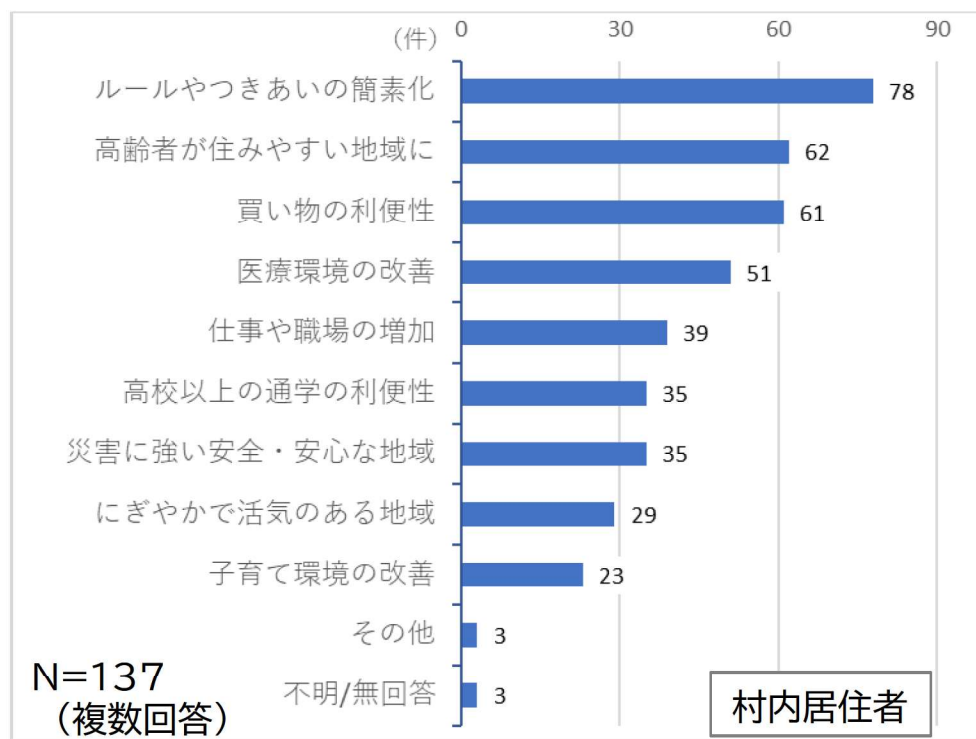
No.	回答	%
1	戻ろう/戻りたい	8.6
2	環境が変われば	31.4
3	戻りたくないが戻らなければならない	0.7
4	戻ろう/戻りたいと思わない	40.0
5	その他	11.4
	不明/無回答	7.9
	計	100.0

年代別では、20代と80歳以上で「この先、村に戻ろう(戻りたい)と思っている」の割合が最も多く、「この先、村に戻ろう(戻りたい)と思っている」と「環境が変われば戻ろう(戻りたい)と思っている」の合計(村に戻る意向があると考えられる割合)は20代と40代で特に多くなっている一方、「戻ろう(戻りたい)とは思っていない」の割合は、40代から年代が上がるにつれ、段階的に増加しています。



考察 ④ 改善を望むこと

- 村内居住者が「村で住み続けるために改善を望むこと」は、「ルールやつきあいの簡素化」が78件で最も多く、次いで「高齢者が住みやすい地域に」が62件、「買い物の利便性」が61件、「医療環境の改善」が51件などとなっています。
- 地区出身の村外居住者が「村に戻るために改善を望むこと」は、「ルールやつきあいの簡素化」が21件で最も多く、次いで「仕事や職場の増加」が20件、「医療環境の改善」が19件、「買い物の利便性」が18件などとなっています。
- 村内居住者、地区出身の村外居住者とも「ルールやつきあいの簡素化」が最も多い一方、2番目以降や年齢別の集計では、やや異なる傾向が見られました。



考察 ⑤ 望む将来像

- 村内居住者が望む「地区の将来像」は、20代と80代では「移住者が増えている」が、40代では「地域内で見守りなどのつながりが強くなっている」と「地元出身者がたくさん戻ってきている」が、50代では「観光客でにぎわっている」が他の年代と比較して少なくなっています。
- 地区出身の村外居住者が望む「地区の将来像」は、20代では「観光客でにぎわっている」が、30代では「住民主催のイベントが増えている」が、50代と80代では「移住者が増えている」が他の年代と比較して少なくなっています。

※グラフは「その他」「何も思わない」及び不明/無回答を除く

